

全社レベルで総合的に リスクを把握し、重大な 課題に的確に対処する

REFINITIV CONNECTED RISK

refinitiv.com/ja

厳しい規制の遵守を求められる大規模な組織にとって、もはや旧来のリスク管理手法だけでは備えとして不十分です。旧来のソリューションでは個別のリスクには有効に対処できるものの、リスクを全社レベルで総合的に把握することが難しくなっています。

リスク管理の専門家は、時間と費用がかかる手作業による方法で不備をカバーするのか、または、ある程度のリスクが見落とされる可能性を受け入れるのかという避けることのできない選択を迫られています。

求められているのは、すでに導入されている信頼できる部分は活用しつつ、機能面で不十分な旧来のソリューションに代わって、すべてのデータソースを結び付けてリスクを統合的に把握できるようなシステムです。

REFINITIV CONNECTED RISK の概要

重要なリスクを統合的に明示

Refinitiv Connected Risk (リフィニティブ・コネクテッド・リスク) は、次世代型のリスク管理ソフトウェア・プラットフォームです。重要なリスクに関する社内外の情報を結び付けることにより、ビジネスが直面するリスクを正確に把握し、重大なエクスポージャーを見極めて、適切な対策を講じることを可能にします。

柔軟でカスタマイズ可能なこのプラットフォームに、サードパーティのデータや標準化されていないデータ、そして既存のシステムをシームレスに統合することにより、組織の包括的なリスク・プロファイルを1つのダッシュボード画面で確認することができます。

あらゆるリスク・データをダッシュボード上で個別ケースと全社的なレベルのどちらでも表示することが可能です。ダッシュボードは、各ユーザーのニーズと組織全体のニーズの双方に合わせてカスタマイズできます。

集約されたデータ、一貫したプロセス、実用的なインサイト

高い柔軟性を誇るプラットフォームである Connected Risk は、複数のリスク・プロセスを統合して、そこに社内外のデータソースを付加することができます。Connected Risk の本質的な機能は、さまざまなデータソースのデータを集約して解析し、標準化、構造化、タグ付けした上で、その全体を共通のタクソミーに基づいて把握する能力を組織に提供することです。

独自の先進的なデータ・マッピング技術により、各種のデータソースをユーザーが定義した共通の基準にマッピングすることを可能にします。さらに、Connected Risk は、ユーザーが定義した階層構造とタクソミーを利用して、重大なリスク情報を集約し、レポートを作成することができます。

Connected Risk では、カスタマイズされたワークフローと自動化されたモニタリングを活用して、組織全体にわたる評価プロセスの一貫した適用を促進します。それを支えるのはロールベースのセキュリティと監査証跡で、これらはリスク・データの照合、管理、報告のための堅牢なプラットフォームとなります。

このプラットフォームのワークフロー・コンポーネントは、手作業による操作が必要なデータの収集に役立ち、他のシステムやデータソースに直接接続できるデータの自動収集機能も備えています。こうしたリスク・データのすべてを、先進的なデータ・マッピングと視覚化を利用して集約することが可能です。

こうした機能を利用することで明確で実用的なインサイトが得られ、事業上の重要な意思決定の指針となる信頼性の高い集約された情報源を確立することができます。

Connected Risk は単独の完結したシステムとしてもご利用いただけます。既存のシステムとの統合にも対応し、また、コンフィギュレータを使用して、お客様固有のニーズに合わせてカスタマイズすることも可能です。

Connected Risk の各ソリューションは、全社的なリスクの特定、評価、管理、モニタリングを支援

リスク管理 インシデントの捕捉と重要リスク管理指標の追跡を統合した、柔軟性に優れた評価の枠組みを確立。

コンプライアンス管理 規制およびコンプライアンスの統合プログラムを効率化、実施、およびモニタリング。

内部監査 堅固な監査ライフサイクル管理を通じて、リスクの評価、計画、報告、および問題のフォローアップを実施。

規制変更管理 組織構造を関連リスク、統制、ポリシーにマッピング。サードパーティおよび社内の特定期間から得たコンテンツを取り込んで、変化し新たに出現するリスク要因への明確な見通しを獲得。

モデル・リスク管理 重要性の高いすべてのモデルに堅固なガバナンスおよびレビュー手順を適用し、規制遵守を実現。

コンフィギュレータ すぐに使えるリフィニティブのツールを利用して、固有のビジネス・ニーズに合わせてソリューションを設定できます。

柔軟性に優れた統合プラットフォームで旧来のソリューションの制約を克服

基本的なリスク・プロセスにおけるデータの量と複雑性は、旧世代のリスク管理テクノロジーでは手に負えなくなっています。既製のシステムを実際のリスク・プロセスや報告基準に厳密に適合させることに制約があるためです。

Connected Risk は、そのような制約を除去する解決策にほかなりません。リフィニティブのプラットフォームでは、コネクテッド・ソリューションの導入を通じて、標準化されたカスタマイズ可能なプロセス自動化により、増え続けるデータに対処することができます。

このプラットフォームのコネクテッド・ソリューションは、設定ツールを利用することで導入とメンテナンスのコストを削減し、現行の個別ソリューションやプロセス (サードパーティのテクノロジーや、Enterprise Risk Manager や AutoAudit™ といったリフィニティブの他のテクノロジーなど) と連携させることが可能です。これにより、コストを生む未統合の分野をカバーし、不適当なシステムを置き換え、正確かつ包括的なリスク・プロファイルを把握することが可能になります。

リフィニティブは、プラットフォーム内で独自のソリューションを構築するための選択肢も提供しています。この機能を利用すれば、アプリケーションを既存のプロセスや特定のニーズにより適合した形でカスタマイズし、投資や運用のコストを大幅に削減することが可能です。

適切な意思決定を、より容易かつ効率的に

このソフトウェア・プラットフォームは、特に緊急性の高いリスクについて行動に必要な情報を提供します。情報の空白を埋めて、リスク・プロファイルの全体像を把握することが可能です。

Connected Risk は、ビジネスのあらゆる面からリスクを集約して可視化し、優先順位を付けることによって、一般的な規格に準拠していない重要データを包括的に把握し、組織の縦割り構造を打破することに貢献します。

統合的なレポート機能

Connected Risk は、Connected Risk プラットフォーム上のすべてのソリューションに適用可能な、洗練された統合的なレポート機能を提供します。この包括的かつ先進的なビジネス・インテリジェンス・レポート機能を利用すれば、Connected Risk のダッシュボード上で見栄えのするインタラクティブなレポートを作成し、埋め込むことが可能です。

この機能の主な利点は次のとおりです。

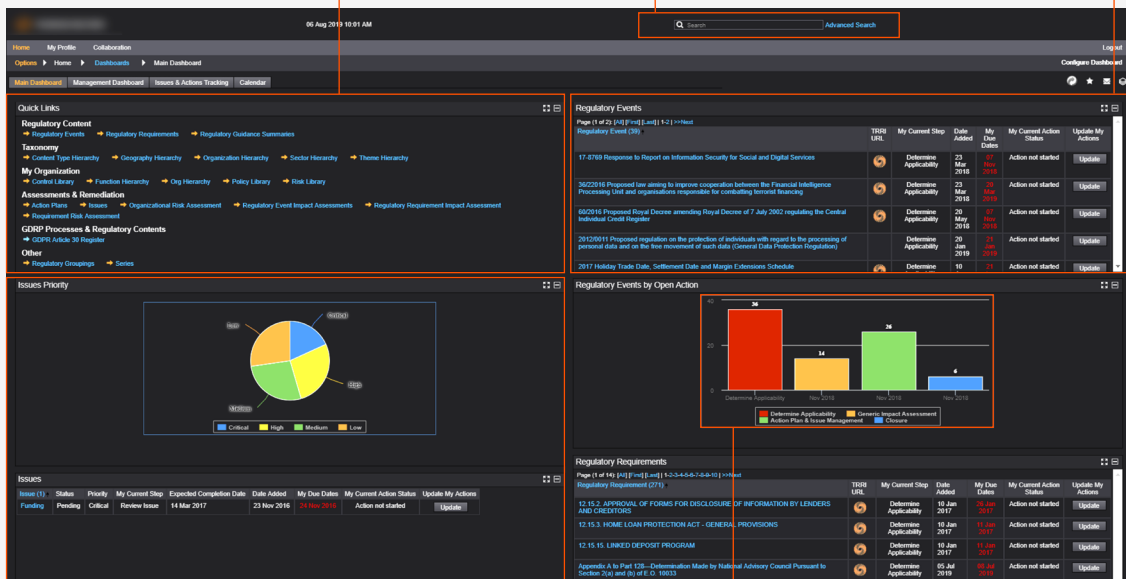
- データ設計とレポート管理の要件を一元的に処理
- Connected Risk の要素を利用してデータ設計を構築
- 特定のユーザー・コミュニティのニーズに対応してレポートを管理、公表、整理
- レポートの書式変更やフィルタの適用により、特定のインサイトや重点分野を明確化することが可能
- レポートを PowerPoint などのプレゼンテーション形式へ自動的に抽出
- 元のデータ・セットを含む図表を Excel にエクスポートすることで、さらに柔軟なレポート作成が可能

Connected Risk は、組織の内外を問わず、すべての重大なリスク情報のプラットフォームとして機能

使いやすさ - ナビゲーション・ボタンをクリックするだけで、ユーザー・プロフィールに基づき重要なページやレポートにアクセスすることができます。

グローバル検索 - ユーザーがアクセス可能なすべてのデータを検索できます。

ワークフロー上の操作 - ユーザーの更新やレビュー、サインオフは設定可能な画面を通じて要求し、アラートはパーソナライズされたダッシュボード画面から管理することができます。



問題およびアクションの管理 - アプリケーション全体で利用可能で、メールのアラートとダッシュボード画面を通じてアクセスすることができます。

統合的なレポート - 動的でインタラクティブな図表をダッシュボードに表示することができ、フィルタリングやドリルダウンも簡単です。

ワークフローの効率化。リフィニティブの統合的なテクノロジー・プラットフォームは、各部門の個別の日常的なニーズの把握に貢献し、情報共有を促進します。また、部門間の協調を可能にし、集約したレポート作成の基礎を提供します。

旧来のソリューションの利用。このプラットフォームは、必要に応じてリフィニティブと組織の既存ソリューションの両方で、旧来のテクノロジーに存在するデータを活用し、すべての出力を総合してリスクを包括的に把握することを可能にします。

既存の IT 資産との接続またはリプレース。Connected Risk は、リスク・プロセスの規律ある一貫した適用を促進し、社内での開発を後押しします。また、既存の IT 資産との接続や、既存の IT 資産のリプレースが可能で、同業他社やパートナーが業界に固有のリスク・ソリューションを開発するためのコミュニティとしても機能します。

組織構造やプロセスに柔軟に対応。組織構造やプロセスをマッピングし、その上に重大なリスク情報を重ね合わせることが出来ます。リスク情報はワークフローと自動化されたデータフィードの両方を使用して継続的に更新されるため、お客様のデータ・モデルをビジネスとともに進化させることができます。

リスク・データを詳細レベルまでドリルダウン。Connected Risk は、いかなるデータにも任意のレベルで直ちにアクセスできます。包括的なダッシュボード画面からスタートして、重要な情報に焦点を絞った上、意思決定を裏付けるだけの十分な情報が得られるまで、より詳細なレベルへとドリルダウンすることが可能です。

社外コンテンツをシームレスに統合。リフィニティブのコンテンツやサードパーティのコンテンツを含む、社外リスク情報のプラットフォームを手にすることができます。その時点での既知の情報に基づく最善の意思決定に役立ち、必要な情報を利用できます。

変化するビジネスを管理。リフィニティブのプラットフォームは、データ・モデル、ワークフロー、セキュリティ・アクセス、通知設定、ダッシュボードを調整できるため、変化するビジネスの要件に常に適合させることが可能です。

手作業のプロセスへの依存を低減。自動化、統合、ワークフローのモニタリングによって、プロセスを最適化し、情報の質を向上させるとともに、有効性を高めてコストを削減することができます。

リフィニティブのリスク管理ソリューション

リスク管理ソリューションは、信頼性の高い規制データ、顧客データ、価格データ、直感的なソフトウェア、専門的なインサイトとサービスを兼ね備えています。これは業界でも特に卓越した組み合わせであり、専門家や企業がリスクを的確に予測し、対策を講じるとともに、業績向上につながる賢明な意思決定を下すことを可能にします。詳細については、refinitiv.com/ja をご覧ください。

ウェブサイト: refinitiv.com/ja

REFINITIV™
DATA IS JUST
THE BEGINNING 